

令和2年8月6日発信

## 令和2年上半期道内卸売市場取扱高実績などについて

### I. 令和2年上半期道内卸売市場取扱高実績について

令和2年1月から6月期の道内卸売市場の取扱高実績を取り纏めました。

消費地市場の取扱高は、青果物が542億4,322万9千円で前年同期比2.7%減、水産物は636億5,704万3千円で15.1%減、花きは50億503万6千円11.7%減で、合計は、1,246億1,143万7千円で、前年同期の1,381億853万9千円から134億9,710万2千円、9.8%の減少となりました。

また、消費地市場の取扱数量は、青果物が21万1,242トンで前年同期比2.2%減、水産物が7万6,327トンで7.8%減、合計は、28万7,568トンで、前年同期の29万8,687トンから1万1,119トン、3.7%減少となり、花きは6,284万3千本鉢で、前年同期の6,988万8千本鉢に比べ704万5千本鉢、10.1%減少となりました。

生産地市場は、取扱高が291億8,644万4千円で、前年同期の352億3,501万5千円から、60億4,857万1千円、17.2%の減少、取扱数量は19万3,936トンで、前年同期の17万4,612トンから、1万9,324トン、11.1%の増加となりました。

なお、水産部門の消費地、産地を合わせた総合計は、数量が27万263トン、前年同期比5.0%増、金額が928億4,348万7千円、15.8%減で、数量が増加したものの、金額は減少となりました。

令和2年上半期の道内卸売市場取扱実績の総合計は、1,537億9,788万1千円で、前年同期の1,733億4,355万4千円と比較して、195億4,567万3千円、11.3%の減少と、新型コロナウイルス感染症の影響などから前年同期を大きく下回る状況となりました。

下半期についても、新型コロナウイルス感染症の影響に、全国各地で発生する局所的な豪雨災害などによる青果物への影響や、漁獲量の拡大も見込みにくいといった懸念材料も加わって、厳しい状況が予想されます。

なお、データを協会ホームページの卸売市場情報に掲載しています。

## II. 空知地方卸売市場協議会通常総会開催

空知地方卸売市場協議会（中西章氏会長(富良野地方卸売市場株)）は、7月21日(火)滝川市のホテル三浦華園において、通常総会及び研修会を開催しました。

総会には、空知管内等の5地方卸売市場代表者(会長、社長)と当協会阪田専務理事が出席しました。中西会長の挨拶の後、令和元年度会議開催報告及び決算報告、令和2年度事業計画及び収支予算案並びに賦課金について審議し、いずれも意義なく承認されました。

その後、阪田専務から改正卸売市場法の施行に伴う道内卸売市場の認定状況や道の取扱要領に、新型コロナウイルス感染症対策などといった話題提供を受け、意見交換を行い閉会しました。

## III. 全国魚卸売市場連合会 令和2年度通常総会について

全国魚卸売市場連合会(全魚卸)は、令和2年度通常総会を新型コロナウイルス感染防止対策のため書面開催とし、令和元年度会務報告及び収支決算報告並びに監査報告、令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)並びに会費賦課(案)、役員交代選任等の3件の議案が決議されました。

茨城県常洋水産株の大谷 勉代表取締役社長が会長に、当協会の角谷 靖代表理事会長が副会長に選任されました。

## IV. 卸売市場における新型コロナウイルス感染予防対策について

新型コロナウイルス感染者の発生が続いています、農林水産省等のホームページで感染者発生時の対応・業務継続に関するガイドラインや支援情報などが公開されています、各施設の実情に応じた感染予防対策や従業員の感染予防・健康管理等の取組を推進していただきますようお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症に関する情報は、次のホームページで公表されています。

(農林水産省ホーム > 注目情報 新型コロナウイルスについて)

(内閣官房ホーム > 新型コロナウイルス感染症対策)

(厚生労働省ホーム > 新型コロナウイルス感染症について)

(北海道ホーム > 新型コロナウイルス感染症に関する情報)